

LL補強土工法

基本型の標準積算資料

平成26年4月

長寿補強土(株)

LL補強土工 基本型の標準積算資料

1 形式の概要

本資料はLL補強土工の基本型に関する積算資料である（頭部にプレートナットを使用したLL補強土工のPN型は、別途「PN型の標準積算資料」を使用する）。

表-1 LL補強土工法の規格一覧表

型式	補強材間隔(m)	最大設計荷重 (kN/本)	主要指針の適合性と認証
L12C	1.2	40.1	★建設技術審査証明取得 2010年
L12D	1.2	54.2	★建設技術審査証明取得 2010年
L14C	1.4	40.1	★建設技術審査証明取得 2010年
L14D	1.4	54.2	★建設技術審査証明取得 2010年
L15C	1.5	40.1	★建設技術審査証明取得 2010年
L15D	1.5	54.2	★建設技術審査証明取得 2010年

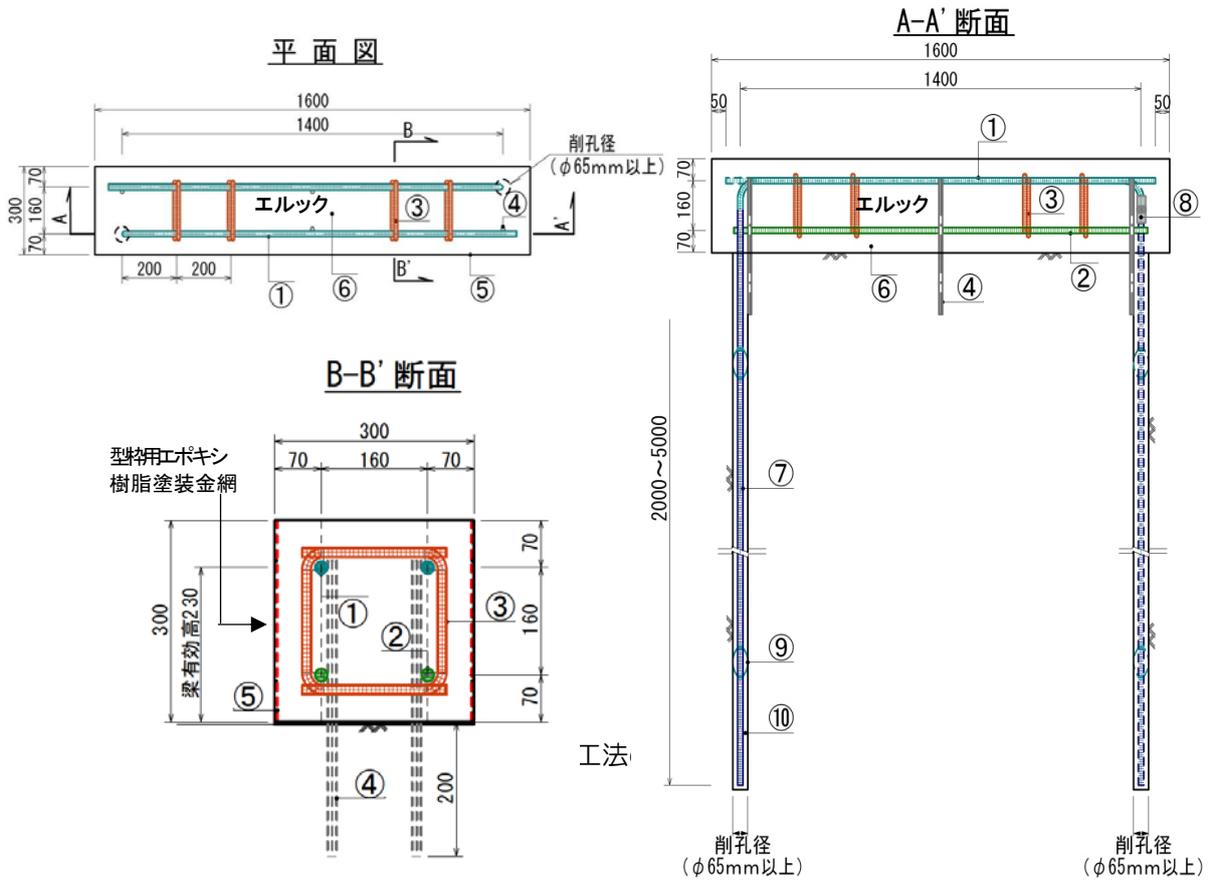


表-2 構造例(L14C)の記号説明

記号	(使用箇所)	名称	仕様または概要 (L14C)
①	エルック	主筋	JIS G 3112 SD345 D19
②	エルック	配力筋	JIS G 3112 SD345 D19
③	エルック	スターラップ	JIS G 3112 SD345 D13
④	エルック	補助アンカー	JIS G 3112 SD345 D13
⑤	エルック	金網型枠	JIS G 3547
⑥	エルック	吹付モルタル	18N/mm ²
⑦	地盤中	補強材	JIS G 3112 SD345 D19
⑧	エルック	LLカプラー	JIS G 5503 SD490
	(崩壊性地盤で使用)	カプラー充填グラウト	有機グラウト剤 (エポキシ樹脂)
⑨	地盤中	LLスペーサー	JIS G 4401
⑩	地盤中	注入材	セメントミルク JIS R 5210
(補足) ⑩の注入材以外の金属製品はエポキシ樹脂粉体塗装製品 JSCE-E 104「エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の品質規格」			

2 積算に適用する資料

積算には、市場単価を適用できる個所については、市場単価を使用し、削孔径 90mm や崩壊性地盤や高所施工箇所などでは、各現場に適した次の資料などを参考にできる。

- A、「ロックボルト積算資料」全国特定法面保護協会
- B、「NSD システム積算資料」
- C、「インバーターチゼル積算資料案」インバーターチゼル積算資料 (案)
- D、「軽量型ボーリングマシン積算資料」軽量型ボーリングマシン研究会
- E、「SD 工法積算資料」SD 工法研究会

削孔径 65mm の場合の市場単価積算案

- ①鉄筋挿入工の市場単価
- ②吹付枠工の市場単価
- ③LL 補強土工の資材の見積り

積算は、1基(補強材2本)当たりの直接工事費を上記の①+②+③で算出する。

代価表例は、LL補強土工のホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/~11h/> のダウンロードプログラム「基本型 積算例プログラム」や「基本型の標準積算資料&単価見積サンプル」を利用できる。

3 エルック造成の加算率

LL補強土工法のり面工であるエルック造成には吹付枠工の市場単価を適用することを標準とする。適用に当たっては、施工規模補正前の市場単価に対し、施工規模を考慮した表-3の加算率を適用する(平成25年度までは、吹付枠工の市場単価に含まれる鋼材を控除していたが、この鋼材の控除を廃止し加算率を変更することで積算を簡便化した)。

表-3 LL補強土工法の施工規模による加算率

施工規模区分	吹付砕工の長さ	LL補強土工法での加算率
		一般斜面
S ₀ 標準規模	500m以上	0%
S ₁ 標準より小規模	250m以上500m未満	10%
S ₂ 標準より小規模	250m未満	20%

斜面に凹凸がある場合の吹付砕工の単価割り増しは、程度と現場条件を考慮して加算できる。

LL補強土 基本型 標準積算資料

平成26年4月
長寿補強土株式会社
〒891-0103 鹿児島市皇徳寺台4丁目51番7号
er-info@bronze.ocn.ne.jp
電話 099-275-9234
FAX 099-275-9235